

米沢市SDGs「わたしのなせばなる」を紹介します

企業・団体名

代表者氏名 舟山 佳那

関係するSDGsの目標（ゴール）に○を書いてください。（複数選択可）

①貧困	②飢餓	③保健	④教育	⑤ジェンダー	⑥水・衛生
					
		○	○		
⑦エネルギー	⑧経済成長・雇用	⑨インフラ・産業化・イノベーション	⑩不平等	⑪持続可能な都市	⑫持続可能な生産と消費
					
					○
⑬気候変動	⑭海洋資源	⑮陸上資源	⑯平和	⑰実施手段	
					

取組のタイトル

髪で結ぶ笑顔と笑顔

取組の説明

※SDGsの各ゴールの達成にどのように貢献するかなどを記載してください。

※欄が不足する場合や写真・画像がある場合は任意様式（A4タテ）で提出してください。

【取組内容】

過去2回、「ヘッドネーション」により献髪を行いました。

【活動に至るきっかけ】

私が小学4年のある時、長期に渡り闘病生活を送っているという同い年の女の子のドキュメンタリー映像を目にしました。そこには抗がん剤の影響で髪が抜け落ち、肉体的な疲弊に加え、精神的にも落ち込んでいるなか、ご両親からプレゼントされたウィッグと帽子により前向きな気持ちを取り戻し、治療に励む姿が映っていました。

その際に初めて「ヘッドネーション」という活動があることを知りました。私は幼少の頃より髪を伸ばし続けており、その時には腰の下程までに長さがあったため、「これなら私にも出来るのではないか、すぐにでも誰かの力になれるのではないか」と思い、行動に移したのがきっかけです。

【ヘッドネーションとは】

全国から寄付された髪の毛で医療用のウィッグを作り、小児がんや事故、脱毛症などで髪を失った18歳以下の子どもたちに医療用ウィッグを無償提供する活動です。2009年から現在に至るまでに累計提供数は719個に及んでいます。

【ヘッドネーションが出来る髪の毛の条件】

- ① **「髪が31cm以上であること」**。どんな長さでも良いわけではなく、最低でも31cm以上を伸ばす必要があります。
基準としては31cm以上で作れるウィッグはショートヘア、40cm以上でポブヘア、50cm以上でロングヘアとなっています。
- ② **「完全に乾いていること」**。濡れている髪は雑菌やカビが繁殖する原因になるため、切る前に濡らすのも避けなければなりません。

ちなみに、パーマやカラー、白髪、くせ毛の人や毛量が少ない人なども問題なくヘッドネーションができます。また、年齢や国籍、性別などの制限もありません。31cm以上の長さがあり乾いている髪であれば、子どもでもヘッドネーションができます。

【SDGsの目標の貢献】

多感な時期に病気や事故などの様々な理由で髪の毛を失った子どもたちの中には、髪の毛がないことで不利益を被り、悩み、復学や日常生活が難しくなってしまう子もいます。しかし、医療用のウィッグがあることで見た目を気にすることなく、少しでも前向きに生活が送れるようお手伝いできます。▶SDGs3「すべての人に健康と福祉を」

子どもたちにとって学校教育を受け、同い年の子と過ごすことは、成長や発達に必要なことだと考えます。そのためにも、たくさんの人に正しい知識を知ってもらい、この活動を広め、不要な偏見をなくすことも大切であると考えます。▶SDGs4「質の高い教育をみんなに」

また、美容院でカットされた髪の毛は通常ゴミとして捨てられてしまいますが、ヘアドネーションを行うことによってゴミを減らし、貴重な資源として再利用できます。

▶SDGs12「つくる責任つかう責任」

ヘアドネーションは、子どもたちの成長や発達をサポートし、未来を守るお手伝いをしながらSDGsにも貢献できる活動です。

【誰かのために行動を起こす経験になった】

「髪を伸ばして寄付する」という誰にでもできる活動ですが、30 cm以上髪の毛を切ることは、私にとって勇気のいることでした。

しかし、困っている人がいることを知り、私の行動一つで誰かの笑顔につながることを想像した時、社会に貢献できたという経験はこれからの私の自信にもつながると考えました。本来ただ捨てられるはずであった私の髪の毛がウィッグの一部となり、それを必要とするどこかの誰かが笑顔になったと思うと、私自身も笑顔になれました。

1つのウィッグを作るには**約30~50人のヘアドネーションが必要**だといわれています。そして、現在のウィッグ待機人数は100人を超えており、まだまだ数が足りません。「髪で結ぶ笑顔と笑顔」。この活動が少しでも日々闘う子供たちの力になれると信じ、今後も続けていきたいです。

◇1回目



◇2回目

